



バナナ値上げ 日本に要望



青果店の店頭に並ぶバナナ(東京都千代田区)

フィリピン 生産・輸送コスト増

フィリピン政府が、日本の小売業の業界団体に対し、バナナの価格引き上げに理解を求める異例の申し入れを行うことがわかった。バナナは店頭価格が過去20年以上ほとんど変わらず、たまごと並ぶ「物価の優等生」とされる。世界的なインフレで生産や輸送にかかるコストが上昇し、生産者を圧迫しているためだ。

フィリピン政府は8日も、全国のスーパーや商業施設が加盟する日本小売業協会に要望書を提出する。エネルギー価格の上昇で、肥料価格や燃料費、輸送費用が上昇しており、利益を出せなくなっているという。財務省の貿易統計によると、2021年のバナナの輸入量は約110万トで、日本が輸入する果物で最も多い。このうち、フィリピンからが8割近くを占める。バナナはかつて高級品として扱われた時代もあった。現在、東京都区部の店頭価格は20年以上、1キログラムあたり200〜250円程度で推移している。対照的に国内生産が多いミカンやリンゴは値上がりした。スーパーでは、割安なのに栄養価が高く、人気のあるバナナを入り口に置いている店が多い。幅広い商品で値上げが相次いでおり、家計の負担になっている。



1 記事中で「物価の優等生」と紹介されている食品を全て書きましょう。

バナナ たまご

「たまごと並ぶ『物価の優等生』」とある文の主語は「バナナ」です。見つけられましたか。

最初の段落に、「生産や輸送にかかるコストが上昇し、生産者を圧迫しているためだ」とありますが、字数が合いません。ほかに言いかえている部分をさがします。コストとは費用のことです。あまり上がると、生産する人は、利益が少なくなってしまう。

2 なぜフィリピン政府が申し入れをしたのですか。□にあてはまる言葉を記事中からぬき出しましょう。

フィリピン

国内のバナナの生産者が、バナナを作っても

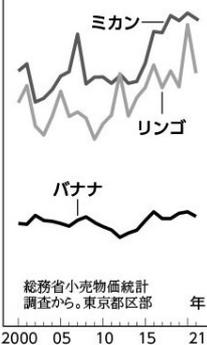
利益を出せなくなっている

から。

記事には、バナナの価格があまり変わらない一方、ミカンやリンゴは値上がりしたという価格の推移が書かれています。(1)のグラフがあると、その部分の内容を、目で見てたしかめることができますね。

(2) 記事中には、日本が輸入するバナナは「フィリピンからが8割を占める」とあります。フィリピンからたのまれた通り、バナナの値上げをしたら、えいきょうは大きそうですね。表をつけると、そのことを強調できます。

3 記者は、記事の内容を補うため、左のグラフをつけることにしました。



(1) グラフのタイトルとして適切なものを選び、番号で答えましょう。

- ① 果物別の消費量 ② 果物別の価格の推移
- ③ 果物別の輸入量 ④ 果物別の人気の推移

(2) さらに記事の内容を補うためにグラフや表をつけるとしたら、最も適切なものは次のうちどれですか。番号で答えましょう。

- ① バナナのおいしい食べ方を紹介するレシピ集
- ② ミカン・リンゴ・バナナに含まれる水分の比較表
- ③ 日本がバナナを多く輸入している国の順位表
- ④ 日本小売業協会に加盟するスーパーやコンビニの一覧表

2

3

読んでみよう！

◆ミー太郎のおすすめ記事

フェアトレード ひいざい

「fair (公正な)」「trade (貿易、取引)」を合わせてつくられた言葉。
発展途上国で作られた農産物や日用品を適正な代金を支払って買い続け、弱い立場におちいりやすい生産地の労働者や自然環境を守りながら、経済的な自立を支援する貿易の仕組みのことをいう。



フェアトレードの商品が並ぶお店

1960年代にヨーロッパで始まり、世界に広がった。日本では、国際的な認証を受けたラベルが貼られた商品もあれば、企業が独自に基準を設けて売っている商品もある。

(2019年2月14日 読売KODOMO新聞)

値段は安い方が、買う立場としてはうれしいですが、

生産する人が生活できないようではこまりますね。

☐ フェアトレード (FT) 「公正貿易」などと訳される。1940年代に欧米で始まった。発展途上国の人に過酷な低賃金労働を強いることがなく、貧困解消策として知られる。バナナやコーヒー、工芸品などの扱いが多い。近年、品質が向上し、西友やイオン、良品計画などの大手企業もFT市場に参入している。

(2009年1月5日 読売新聞朝刊より)

